

2022年 1月 18日

高槻市長 濱田剛史 様

日本共産党高槻市会議員団

新型コロナウイルス感染症にかかわる対策の緊急要望

年が明けて、高槻市では新型コロナの感染が急増しています。新たなオミクロン株が出現し感染しやすく、今までの状況とは違う対応が求められます。

高齢者施設でのクラスターに加え、各施設でも休業するなど影響が出ています。さらに、飲食店を中心に収入がコロナ前に戻らない状況があります。そこで、新型コロナ対策について要望します。

- 1, 検査体制の強化、いつでも、誰でも、何度でも無料で検査が受けられるように体制を整えること。大阪府の無料検査は大手薬局で人数制限があり、誰でも受けられる状況ではありません。高槻市として国の補助を利用し検査を受けられる場所を増やすこと。
- 2, 学校、保育所、幼稚園などの職員に検査キットを配布すること。
- 3, ワクチン接種が済んでいない、幼児がいる家庭に対して、検査キットを配布すること。
- 4, ワクチン接種の集団接種の箇所数を増やすこと。前回と違い1回の接種ですが、12歳以下の接種が行われることと、ワクチンによって取り扱いが違うので、余裕をもって対応できるようにするために集団接種の箇所を増やすこと。
- 5, 保健所の体制を強化すること。オミクロン株で感染が急増しています。また、在宅での療養が増えることも想定し、それに対応できるように人を増やすこと。
- 6, 在宅療養者への支援を充実すること。
- 7, 事業者への3回目の応援給付金を実施すること。